

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 京写

コード番号 6837 URL <http://www.kyosha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 児嶋 一登

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 平岡 俊也

TEL 075-631-3193

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	11,925	△4.7	448	△42.4	515	△33.3	353	△24.2
23年3月期第3四半期	12,517	26.4	778	94.5	772	81.1	466	80.2

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 239百万円 (8.0%) 23年3月期第3四半期 221百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	24.67	—
23年3月期第3四半期	32.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年3月期第3四半期	11,437		2,987		25.1	
23年3月期	10,797		2,829		25.1	

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 2,871百万円 23年3月期 2,707百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
平成24年3月期期末配当金の内訳 普通配当3円00銭 特別配当2円00銭

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	△8.4	600	△38.0	600	△39.0	430	△19.5	30.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	14,624,000 株	23年3月期	14,624,000 株
24年3月期3Q	289,750 株	23年3月期	289,750 株
24年3月期3Q	14,334,250 株	23年3月期3Q	14,327,486 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 追加情報	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社が属するプリント配線板業界の当第3四半期連結累計期間における状況は、10月にタイで発生した洪水災害による影響や、薄型テレビ等の映像関連分野が低迷するなかで、国内市場におけるサプライチェーン復旧による自動車関連分野を中心とした需要の回復や、環境関連分野におけるLED照明の需要が活発化する等の明るい動きが見られました。

このような状況の中で当社グループは、グローバル体制を活かした更なる受注の獲得と、生産体制の拡充や新製品の開発・品質向上に取組み、一層の経営基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期の業績は、LED照明の需要の取り込みや、新規販売拠点における東南アジア地域の販路拡大等により、主力のプリント配線板事業が好調に推移し、当第3四半期のみで見れば、売上高は248百万円増、営業利益は35百万円増、経常利益は53百万円増、四半期純利益は19百万円増と、売上・利益ともに前年同期を上回る結果となりました。しかしながら、連結累計期間としましては、期初における需要の低迷や、円高の進行により海外子会社業績を円換算する際の見減りが影響し、売上高は11,925百万円(前年同期比4.7%減591百万円の減収)となりました。また、利益面につきましては、実装関連事業がサプライチェーンの寸断により低迷したことに加え、最低賃金の引き上げ等により中国とインドネシアにおける人件費が増加したこと、海外子会社業績を円換算する際の見減りが影響したことにより、営業利益は448百万円(前年同期比42.4%減330百万円の減益)、経常利益は515百万円(前年同期比33.3%減257百万円の減益)、四半期純利益は、353百万円(前年同期比24.2%減113百万円の減益)となりました。

(日本)

日本では、片面プリント配線板はLED照明が引き続き好調に推移したこと、両面プリント配線板はサプライチェーンの復旧により自動車関連分野を中心に需要の回復が進んだことから、当第3四半期のみで見れば、売上・利益ともに前年同期を上回る結果となりましたが、期初の低迷をカバーするまでには至らず、片面プリント配線板の売上高は1,904百万円(前年同期比14.4%増240百万円の増収)両面プリント配線板の売上高は1,919百万円(前年同期比12.0%減261百万円の減収)その他の売上高は、1,591百万円(前年同期比5.1%減85百万円の減収)となりました。この結果、日本国内のプリント配線板事業の業績は累計でも前期を上回りましたが、実装関連事業が低迷したことで、売上高は5,414百万円(セグメント間の内部取引高を含む、前年同期比1.9%減106百万円の減収)、セグメント利益は48百万円(前年同期比24.8%減15百万円の減益)となりました。

(中国)

中国では、主力の片面プリント配線板は、事務機分野及びエアコン等の家電製品分野が好調に受注を伸ばし、現地通貨ベースでは前年同期を上回りましたが、売上高は3,153百万円(前年同期比3.5%減113百万円の減収)となりました。両面プリント配線板は、事務機分野や自動車関連分野は好調に推移しましたが、薄型テレビ等の映像関連分野での需要の一巡や、家庭用ゲーム機を主とするアミューズメント分野の需要の低迷等により、売上高は1,801百万円(前年同期比9.6%減190百万円の減収)となりました。この結果、中国での売上高は、その他の売上高237百万円(前年同期比14.2%減39百万円の減収)を含めまして5,192百万円(セグメント間の内部取引高を含む、前年同期比6.2%減343百万円の減収)、セグメント利益は、人件費の増加や修繕費他の製造経費の増加の影響もあり363百万円(前年同期比44.1%減287百万円の減益)となりました。

(インドネシア)

インドネシアでは、タイに開設した新規販売拠点における拡販の効果や、照明機器等の家電製品や自動車関連製品が引き続き好調に推移しましたが、主力の薄型テレビ等の映像関連分野の需要低迷を受け、片面プリント配線板の売上高は1,592百万円(前年同期比12.3%減223百万円の減収)となりました。また当期より開始した両面プリント配線板の売上高は93百万円となりました。この結果、インドネシアでの売上高は、その他の売上高233百万円(前年同期比8.6%増18百万円の増収)を含めまして1,919百万円(セグメント間の内部取引高を含む、前年同期比5.5%減111百万円の減収)となり、セグメント利益は、人件費が増加したことの影響を受け36百万円(前年同期比40.4%減24百万円の減益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、主に現金及び預金の減少215百万円、受取手形及び売掛金の増加723百万円等により、11,437百万円(前連結会計年度末比640百万円の増加)となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、主に支払手形及び買掛金の増加267百万円、短期借入金の増加41百万円、長期借入金の減少43百万円等により、8,450百万円(前連結会計年度末比482百万円の増加)となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、主に利益剰余金が281百万円増加したことにより、2,987百万円(前連結会計年度末比157百万円の増加)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済情勢につきましては、欧州債務問題に関連した海外経済の低迷や、わが国経済における電力供給の制約や円高の長期化等、依然厳しく不透明な状況が続くものと予想されますが、当連結会計年度(平成24年3月期)の業績予想につきましては、直近の受注状況等を勘案し、平成23年10月28日に公表しましたとおり、連結売上高15,000百万円、連結営業利益600百万円、連結経常利益600百万円、連結当期純利益430百万円と予想しております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,997,952	2,782,579
受取手形及び売掛金	2,600,286	3,323,922
製品	301,571	345,660
仕掛品	242,574	313,214
原材料及び貯蔵品	882,462	777,201
その他	241,638	450,052
貸倒引当金	△9,369	△13,043
流動資産合計	7,257,118	7,979,587
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,711,609	2,695,120
減価償却累計額	△1,752,223	△1,812,482
建物及び構築物(純額)	959,385	882,638
機械装置及び運搬具	5,387,501	5,412,983
減価償却累計額	△4,211,038	△4,292,108
機械装置及び運搬具(純額)	1,176,462	1,120,874
その他	1,301,251	1,329,080
減価償却累計額	△584,128	△590,549
その他(純額)	717,122	738,531
有形固定資産合計	2,852,971	2,742,044
無形固定資産	19,455	15,775
投資その他の資産		
その他	667,591	704,080
貸倒引当金	—	△3,674
投資その他の資産合計	667,591	700,406
固定資産合計	3,540,018	3,458,227
資産合計	10,797,136	11,437,814

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,694,619	2,962,499
短期借入金	1,825,727	1,867,609
未払法人税等	117,940	156,843
賞与引当金	118,274	98,157
その他	937,126	1,199,336
流動負債合計	5,693,688	6,284,446
固定負債		
長期借入金	1,721,500	1,678,500
退職給付引当金	85,150	96,825
役員退職慰労引当金	251,750	4,133
その他	215,082	386,129
固定負債合計	2,273,484	2,165,588
負債合計	7,967,172	8,450,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,433	1,102,433
資本剰余金	1,153,716	1,153,716
利益剰余金	1,062,397	1,344,299
自己株式	△31,287	△31,287
株主資本合計	3,287,260	3,569,162
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,795	△1,754
繰延ヘッジ損益	△1,724	△1,408
為替換算調整勘定	△586,921	△694,257
その他の包括利益累計額合計	△579,850	△697,420
少数株主持分	122,553	116,037
純資産合計	2,829,963	2,987,779
負債純資産合計	10,797,136	11,437,814

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	12,517,184	11,925,840
売上原価	10,166,341	9,844,768
売上総利益	2,350,842	2,081,071
販売費及び一般管理費	1,572,002	1,632,384
営業利益	778,840	448,687
営業外収益		
受取利息	3,230	974
受取配当金	2,246	2,943
為替差益	—	20,406
負ののれん償却額	65,487	65,487
雑収入	27,958	29,802
営業外収益合計	98,922	119,615
営業外費用		
支払利息	40,797	37,893
持分法による投資損失	2,281	3,460
為替差損	30,764	—
雑損失	31,752	11,803
営業外費用合計	105,595	53,157
経常利益	772,167	515,144
特別利益		
固定資産売却益	970	63
その他	—	51
特別利益合計	970	114
特別損失		
固定資産売却損	884	1,266
固定資産除却損	7,971	2,743
投資有価証券評価損	0	—
役員退職慰労金	88,450	—
その他	6,550	—
特別損失合計	103,857	4,010
税金等調整前四半期純利益	669,279	511,249
法人税、住民税及び事業税	203,654	154,546
法人税等合計	203,654	154,546
少数株主損益調整前四半期純利益	465,624	356,702
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,024	3,128
四半期純利益	466,649	353,573

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	465,624	356,702
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,355	△10,550
繰延ヘッジ損益	△2,717	284
為替換算調整勘定	△237,948	△107,928
持分法適用会社に対する持分相当額	—	865
その他の包括利益合計	△244,021	△117,328
四半期包括利益	221,603	239,373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	225,955	236,002
少数株主に係る四半期包括利益	△4,351	3,370

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	日本	中国	インドネシア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,235,617	5,310,333	1,971,232	12,517,184	—	12,517,184
セグメント間の内部売上高 又は振替高	285,246	225,619	59,643	570,510	—	570,510
計	5,520,864	5,535,953	2,030,876	13,087,694	—	13,087,694
セグメント利益	64,258	651,148	61,776	777,183	—	777,183

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	777,183
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	1,657
四半期連結損益計算書の営業利益	778,840

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	日本	中国	インドネシア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,130,261	4,968,689	1,826,888	11,925,840	—	11,925,840
セグメント間の内部売上高 又は振替高	284,163	223,587	92,147	599,898	—	599,898
計	5,414,425	5,192,277	1,919,035	12,525,738	—	12,525,738
セグメント利益	48,348	363,696	36,788	448,833	—	448,833

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	448,833
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	△146
四半期連結損益計算書の営業利益	448,687

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。